

### (3) 組織対象

#### 【意識編】

問1. 貴組織についてお尋ねします。以下の情報を記入してください。

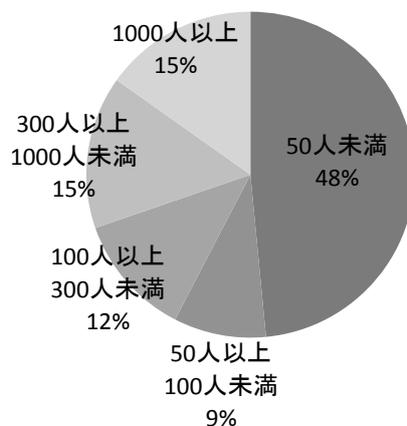
アンケート回答者数は37であった。属性情報としては、以下の通り。

- ・規模 : 従業員数は50人未満が48%と最も多く、次いで300~1,000人、1,000人以上が共に15%。

#### ○規模(員数)

	回答数	%
50人未満	16	48%
50人以上100人未満	3	9%
100人以上300人未満	4	12%
300人以上1000人未満	5	15%
1000人以上	5	15%
有効回答	33	100%
無回答など	4	
全体	37	

問1. 貴組織についてお尋ねします。以下の情報を記入してください。(規模) n=33



問 2. 貴組織の所在地の「上流域」として認識している地域を記入してください。  
(複数可)

アンケート回答組織の所在地の上流域として認識している地域としては、木曾地域を中心とする長野県とする回答が最も多い。次いで、岐阜県、愛知県。

アンケート回答組織にとっての上流域として、木曾地域を位置づけることについて基本的には問題ないと考えられるが、多くが長野県・岐阜県合わせた大きな範囲を上流域として捉えている点に留意が必要。

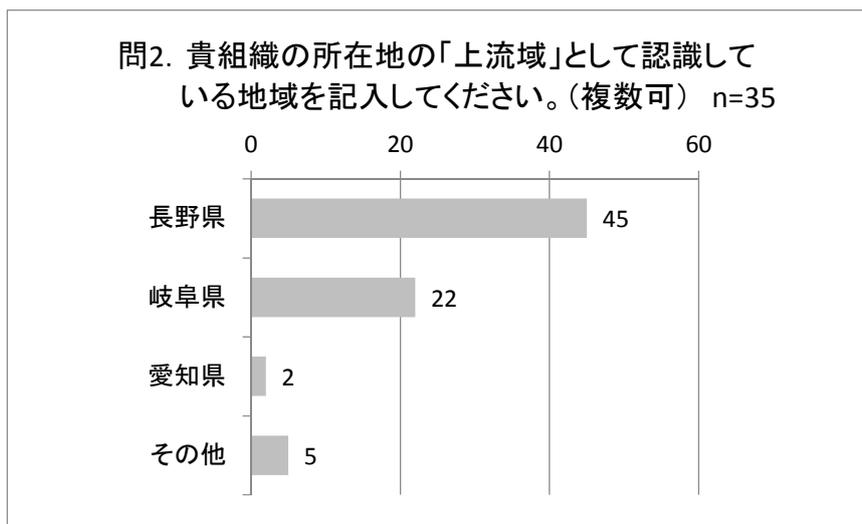
○「上流域」と認識する地域 ※1

			回答数	
長野県	木曾郡	木祖村	7	
		王滝村	5	
		木曾町	5	
		南木曾町	5	
		上松町	3	
		大桑村	2	
		木曾※2	8	
		その他	長野県※3	8
		南信地方	1	
		木曾路	1	
岐阜県	中津川市		4	
	瑞浪市		1	
	郡上市		1	
	下呂市		1	
	多治見市		1	
	八百津町		1	
	恵那町		1	
	揖斐川町		1	
	その他	岐阜県		9
		飛騨		1
		岐阜東濃		1
愛知県	豊田市(矢作川上流域)		1	
	犬山市		1	
その他	木曾・飛騨の山岳地から尾張東部		1	
	木曾川流域市町村		1	
	木曾川上流域		1	
	木曾川		1	
	飛騨川		1	
有効回答			35	
無回答			2	
全体			37	

※1 複数回答の場合は地域ごとに分けて集計

※2 「木曾地域」(2)、「木曾郡」(4)、「木曾広域連合」(1)の回答含む

※3 「長野県内全域」(1)、「長野県(木曾川の流域)」(1)の回答含む

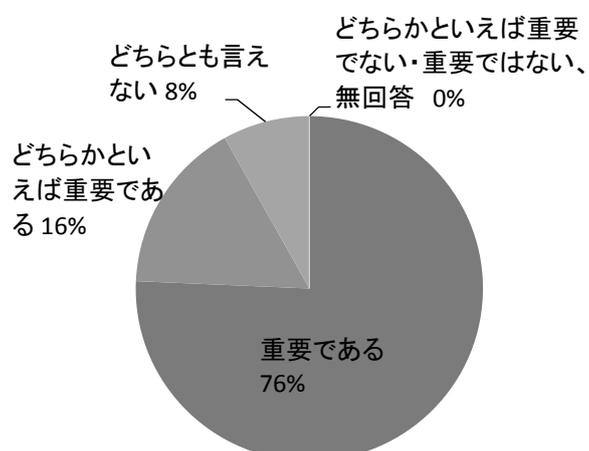


問3. 上流域は貴組織の活動にとって重要ですか？あてはまるものを一つ選んでください

アンケート回答組織にとって上流域は重要であるとの回答が最も多く 76%、次いでどちらかといえば重要である 16%、どちらとも言えない 8%。  
多くの組織にとって上流域の重要性が認識されている。

	回答数	%
重要である	28	76%
どちらかといえば重要である	6	16%
どちらとも言えない	3	8%
どちらかといえば重要でない	0	0%
重要ではない	0	0%
有効回答	37	100%
無回答	0	
全体	37	

問3. 上流域は貴組織の活動にとって重要ですか？  
 あてはまるものを一つ選んでください n=37



問 4. 上流域の持つ資源の貴組織にとっての重要度について、1～5の中から一つ選んでください。

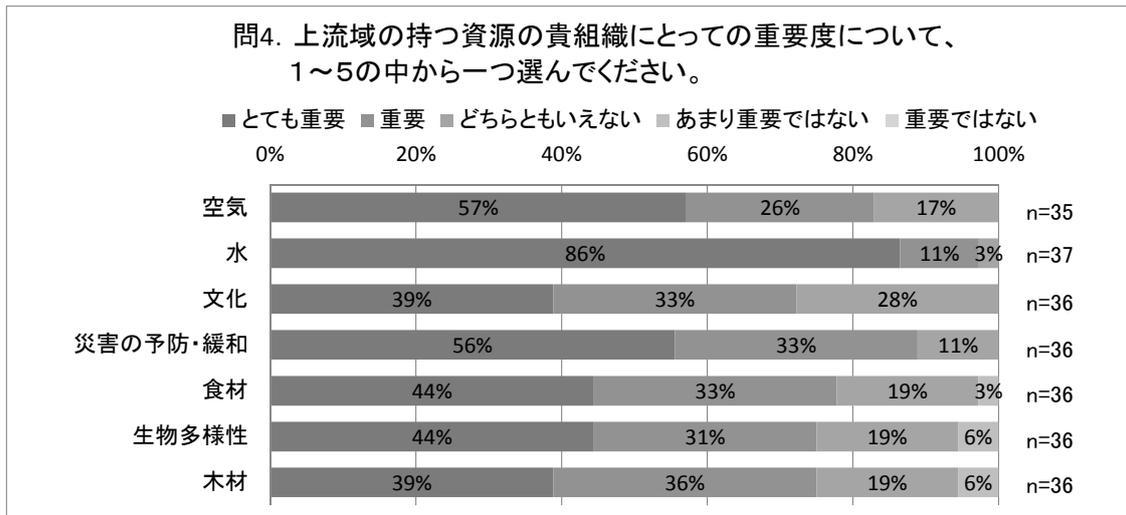
アンケート組織にとっての上流域の持つ資源の重要度（「とても重要」の割合）は、高い順に、水（86%）、空気（57%）、災害の予知・緩和（56%）、食材、生物多様性（ともに44%）、文化、木材（ともに39%）となっている。直接的な生存に関わる、水、空気、災害といった項目の重要性が高くなっている。

同じ質問をしている一般編と比較すると、重要と思う項目の順位についてはほぼ同じ傾向がうかがえる。

どちらも直接的な生存に関わる水、空気、災害を重要視しているが、一般編の方がより重視している。一方で組織編は生物多様性や文化といった一般の人には間接的・抽象的な項目について一般編より重要視している割合が高い。

直接的な項目をより重要視しつつも、全項目まんべんなく重要であると考えてるのが組織編の特徴といえる。

		回答数	%
空気	とても重要	20	57%
	重要	9	26%
	どちらともいえない	6	17%
	あまり重要ではない	0	0%
	重要ではない	0	0%
	有効回答	35	100%
	無回答	2	
	水	とても重要	32
重要		4	11%
どちらともいえない		1	3%
あまり重要ではない		0	0%
重要ではない		0	0%
有効回答		37	100%
無回答		0	
文化		とても重要	14
	重要	12	33%
	どちらともいえない	10	28%
	あまり重要ではない	0	0%
	重要ではない	0	0%
	有効回答	36	100%
	無回答	1	
	災害の予防・緩和	とても重要	20
重要		12	33%
どちらともいえない		4	11%
あまり重要ではない		0	0%
重要ではない		0	0%
有効回答		36	100%
無回答		1	
食材		とても重要	16
	重要	12	33%
	どちらともいえない	7	19%
	あまり重要ではない	1	3%
	重要ではない	0	0%
	有効回答	36	100%
	無回答	1	
	生物多様性	とても重要	16
重要		11	31%
どちらともいえない		7	19%
あまり重要ではない		2	6%
重要ではない		0	0%
有効回答		36	100%
無回答		1	
木材		とても重要	14
	重要	13	36%
	どちらともいえない	7	19%
	あまり重要ではない	2	6%
	重要ではない	0	0%
	有効回答	36	100%
	無回答	1	
	全体		37



問5. 貴組織の活動を通して、上流域の課題による影響を実際に感じていますか？あてはまるものを一つ選んでください。

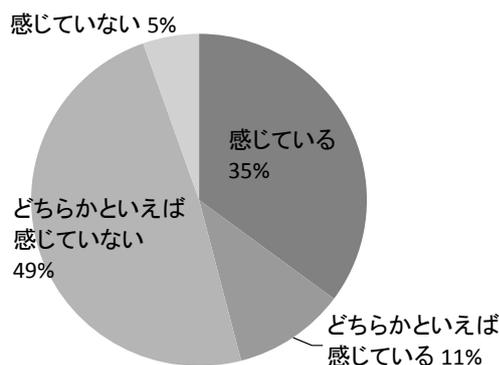
上流域の課題による影響をどちらかと言えば感じていない組織の割合が49%と半数近い。一方で、感じている35%、どちらかと言えば感じている11%と感じている組織の割合も46%と半数近い。

同種の質問をしている一般編と比較すると、**影響を感じているとする割合が組織編の方で高い**（一般編の「感じている」、「どちらかと言えば感じている」の割合は22%）。

また、感じた影響について具体的に記述してもらったところ、平成26年7月の南木曾町での土砂災害により下流域の飲料水の水質悪化につながったことをはじめ、**土砂災害、水質低下等に関するコメントが寄せられている。**

	回答数	%
感じている	13	35%
どちらかといえば感じている	4	11%
どちらかといえば感じていない	18	49%
感じていない	2	5%
有効回答	37	100%
無回答	0	
全体	37	

問5. 貴組織の活動を通して、上流域の課題による影響を実際に感じていますか？あてはまるものを一つ選んでください。n=37



問 6. 問 5 で「A」と「B」を選んだ方にお尋ねします。感じた影響を記入してください。

○土砂災害

大雨時に土砂崩れなどの災害が多くなっている
森林の手入れなどが不十分になり、水害等の自然災害が増加していること
最近の気候変動に伴う大雨による河川増水や河川氾濫の危険性の増大
降雨時の上流部での吸水力の低下。土砂や流木の増加
森林、山の保全に思慮が足りない、南木曾町の土砂災害をみて改めて感じました、川に流れ出した流木などが取り除けない様子に痛々しさを感じた
平成26年7月9日の南木曾町での土砂災害時に、水道の原水の水質が悪化し、活性炭の注入が必要になるなど、大きな影響を受けた
平成26年7月9日の南木曾町で発生した土石流により、地中のカビ臭が川に混入し、愛知用水にも影響した 今後も間伐の遅れや虫害による土石流の要因となる森林環境の悪化が懸念される

○水質低下

水質が落ちている
水質の浄化機能
おいしい水の条件は、豊かな森、その森は人びとが暮らしていることで成り立っている。間伐した木材も含めて、木材の消費について、下流域が自分たちの暮らしと一体のものとして行っていかなければならない

○動物による被害

里山の衰退により、獣(鹿・熊)被害が多くなっている
農産物をいただいているが、鹿、イノシシなどの食害により収穫できないことなど

○その他

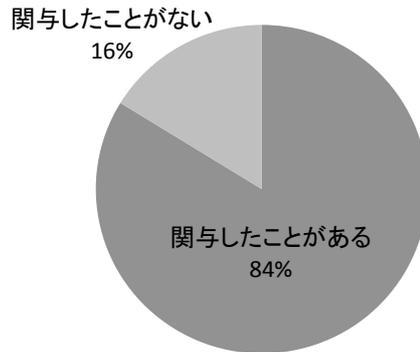
山林の見学などを通して、山林の荒廃を感じている
地球温暖化
名古屋城本丸御殿の復元に使用している木材(特にヒノキ)不足
水の安定的な供給
南木曾が水害にあたり御岳が噴火して多くの方が亡くなられ、それが心配。観光にダメージがきてないか 全ての行方不明の方が一日でも早く、遺族の方の元に帰られることを心からお祈りする

問7. 貴組織は上流域とかかわりのある活動に関与したことがありますか？あてはまるものを一つ選んでください。

これまで上流域との関わりのある活動に関与したことがある組織は 84%。大半の組織が上流域と何らかのかかわりを持っている。  
個別の具体的な関与活動を問8に示す。

	回答数	%
関与したことがある	31	84%
関与したことがない	6	16%
有効回答	37	100%
無回答	0	
全体	37	

問7. 貴組織は上流域とかかわりのある活動に関与したことがありますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=37



問 8. 問 7 で「A」を選んだ方にお尋ねします。関与した活動を記入してください。

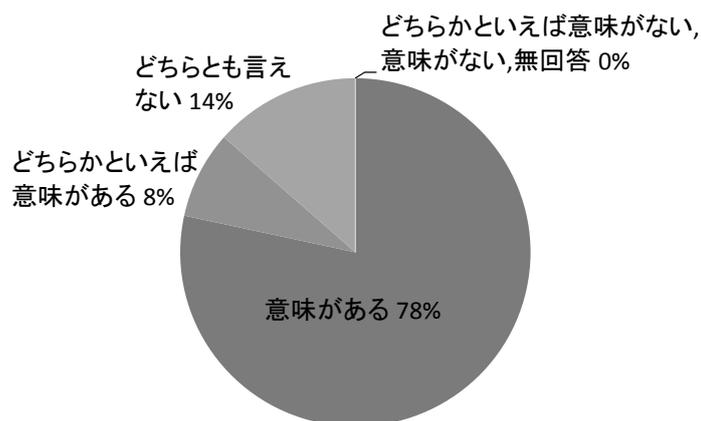
名古屋市民による森づくり(木曽・裏木曽で毎年開催)(植樹活動)、名古屋城本丸御殿着工及び復元に関するイベント(斧入れ行事など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上流域と下流域の人びとの交流と連携が私たちの活動の中心のひとつ</li> <li>・木曽川流域水源の里基金を設立、上流域の生産品であるミネラルウォーター、みそ、木工品などを下流域の宅配会員団体が販売、その2%を基金として積み立てて、その基金の運用として上流域の高校生にベンチや木製玩具を制作依頼。できた作品を名古屋市の東山動物園、科学館、名古屋城などに寄贈している</li> <li>・上流域(木祖村)で畑を借りて大豆づくりを行っている。その大豆を木曽町の店で伝統的な作り水源の里基金の物販で売上げの2%をみんなの会に2008年から寄付してきました</li> </ul>
木曽川流域木と水の循環システム協議会を立ち上げ、上下流の連結に取り組んでいる木の家を中心とした上下流のグループ
学生が木祖村で「みんなの会」の合宿に昨日参加
平成22年10月の提言書において、河川の上流域における森林の治山治水機能、水源涵養機能の維持の重要性を訴え、中山間地域の活性化を提言
植林ボランティア寄付金、交流活動、アンテナショップへの協力
交流活動
植樹に参加
主に飛騨川支流ですが、一年を通して交流
みんなの会への参加、物販
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動(名古屋市内でアンテナショップ、etc.、インターネット放送局による情報交流)</li> <li>・寄付金</li> </ul>
交流活動
木曽三川がつなぐ山とまちインターネットフォーラム
愛知用水の利用者と水源地との交流事業、森林の間伐作業(工業用水利用者をメンバーとする協議会事務局を運営)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県内5ヶ所の「八十二の森」活動拠点(長野市、上田市、松本市、下諏訪町、飯田市)で、職員による森林整備活動を行うとともに、間伐費用等を提供している</li> <li>・千曲川、天竜川上流域において、特定外来生物「アレチウリ」の駆除ボランティアに参加</li> </ul>
交流活動:親子木曽川源流探検隊
イベント:リバーサイドフェスティバル
<ul style="list-style-type: none"> <li>・流域自治体同時実施の河川清掃(木曽川クリーン大作戦)</li> <li>・中学生校外学習(山村学習)</li> <li>・水源(岩尾ダム)周辺の間伐</li> </ul>
尾張水道連絡協議会による水源涵養林保全事業(下呂市内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐、植樹作業</li> <li>・植樹体験ツアー</li> </ul>
県水南部ブロック協議会の会員として、ふれあい視察研修や表敬訪問を行っている
大桑村育樹祭
木曽川上下流交流事業
「木曽川源流夏祭り」(木祖村)へ木曽岬町の特産品の販売、首長・議長同士の交流
小学生野外体験活動(5年生、木祖村へ)
上流域での森林保護
友好都市である上松町にて毎年森林整備交流事業参加
育樹活動、交流活動、木祖村宿泊に関する助成金、キャンプに関する負担金
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化登山、徐間伐活動、交流活動</li> <li>・水源地涵養地の森購入</li> </ul>
上流域(南木曽町)との自治体間交流、施設優待提携事業等
水と緑の感謝祭、王滝村ボート体験教室
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上流域での森林整備ボランティア活動</li> <li>・木曽郡植樹祭での上流域住民との交流</li> <li>・上下流交流事業を通じた木曽広域連合職員との交流</li> </ul>

問9. 上流域とかかわりのある活動への関与は貴組織の活動にとって意味があると思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。

上流域との関わりのある活動への関与には意味があるとの回答が78%と大半。併せて個別の回答結果を示す。

	回答数	%
意味がある	29	78%
どちらかといえば意味がある	3	8%
どちらとも言えない	5	14%
どちらかといえば意味がない	0	0%
意味がない	0	0%
有効回答	37	100%
無回答	0	
全体	37	

問9. 上流域とかかわりのある活動への関与は貴組織の活動にとって意味があると思いますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=37

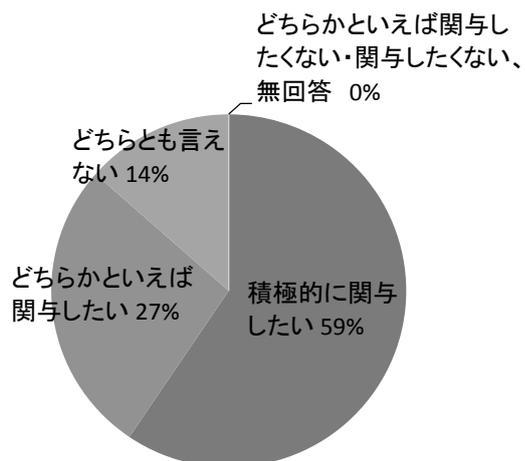


問 10. 今後上流域とかかわりのある活動に、貴組織として関与したいと思えますか？あてはまるものを一つ選んでください。

上流域との関わりのある活動への関与意向のある組織は全体の 86%で大半。中でも積極的に関与したいとの回答が 59%。  
併せて個別の回答結果を示す。

	回答数	%
積極的に関与したい	22	59%
どちらかといえば関与したい	10	27%
どちらとも言えない	5	14%
どちらかといえば関与したくない	0	0%
関与したくない	0	0%
有効回答	37	100%
無回答	0	
全体	37	

問10. 今後上流域とかかわりのある活動に、貴組織として関与したいと思えますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=37

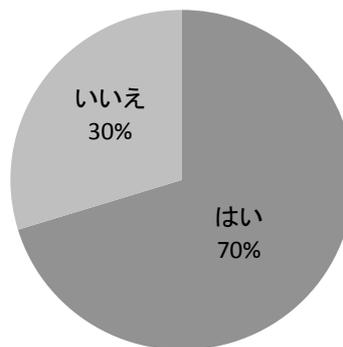


問 11. 現在上流域とかかわりのある活動を組織の活動の一部として計画していますか？あてはまるものを一つ選んでください。

上流域との関わりのある活動の計画を有している組織は全体の 70%。  
併せて個別の回答結果を示す。概ね、問 8、9 で上流域との関わりのある活動に興味があると認識し、活動に関心を有している割合で計画を有していることが分かる。

	回答数	%
はい	26	70%
いいえ	11	30%
有効回答	37	100%
無回答	0	
全体	37	

問11. 現在上流域とかかわりのある活動を組織の活動の一部として計画していますか？あてはまるものを一つ選んでください。 n=37



問 12. 問 11 で「A」を選んだ方にお尋ねします。計画している活動を記入してください。

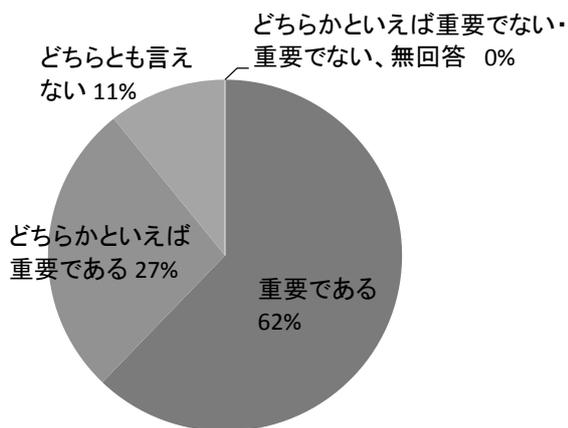
問8に記載の事業を継続実施する予定
名古屋市民による森づくり(木曾・裏木曾で毎年開催)(植樹活動)
問7で答えた内容の継続と一層の拡大
上流域から下流域(都市部)へのバスツアー、都市部のニーズを、安全・安心な食品、生産を販売している会社、団体から直接聞く機会を作っていきたい
新しい製品づくり(安全、安心、環境)を一緒に考えていきたい
上流域からの発信力を高めていくことを一緒に考え、作り出していきたい
11月末にみんなの会の枠組みで木曾の生産者を巡るバスツアーを企画したいと考えているがまだ具体的なものでない
現在取り組み中
①事業活動指針の3本柱一つに「まちづくり」を置き、地域特性を活かしたまちづくりに取り組んでいる
②流域圏や都市圏として一体の地域からなる道州制の制定を提唱している
③国連ESDの趣旨に賛同し活動している
地域のお祭りなどの協同参加、商品開発
主に食にまつわる、交流活動、物流
物販を計画している
交流活動(人、物、情報)
交流活動
木曾三川がつなぐ山とまちインターネットフォーラム
・長野県内5ヶ所の「八十二の森」活動拠点(長野市、上田市、松本市、下諏訪町、飯田市)で、職員による森林整備活動を行うとともに、間伐費用等を提供している
・千曲川、天竜川上流域において、特定外来生物「アレチウリ」の駆除ボランティアに参加
交流活動:親子木曾川源流探検隊、イベント:リバーサイドフェスティバル
・流域自治体同時実施の河川清掃(木曾川クリーン大作戦)、・中学生校外学習(山村学習)、・水源(岩尾ダム)周辺の間伐
・水源涵養林保全事業(間伐・植樹作業)、・水道PR事業(家族で参加する植樹体験ツアー)
県水南部ブロック協議会の会員として、ふれあい視察研修や表敬訪問を行っている
(交流活動)大桑村育樹祭
長野県木曾郡木祖村との木曾川上下流交流事業
交流活動
森林交流事業
引き続き、問8の回答の内容について継続実施を計画している
上流域に所有する水源涵養地の森の維持管理
南木曾町との自治体間交流の継続
東郷町自治体間交流王滝村宿泊施設利用助成事業、王滝村ボート体験教室(東郷町の寄贈したボートを利用して)
・上流域での森林整備ボランティア活動
・木曾郡植樹祭での上流域住民との交流
・上下流交流事業を通じた木曾広域連合職員との交流

問 13. 流域圏としての帰属感、上流域との連帯感は組織として重要だと思いますか？

組織にとっての流域圏としての帰属感、上流域との連帯感が重要と考える組織は全体の 62%。どちらかといえば重要 27%を合わせると**全体の 89%が流域圏としての帰属感・連帯感が重要であると考えている。**

	回答数	%
重要である	23	62%
どちらかといえば重要である	10	27%
どちらとも言えない	4	11%
どちらかといえば重要ではない	0	0%
重要ではない	0	0%
有効回答	37	100%
無回答	0	
全体	37	

問13. 流域圏としての帰属感、上流域との連帯感は組織として重要だと思いますか？ n=37



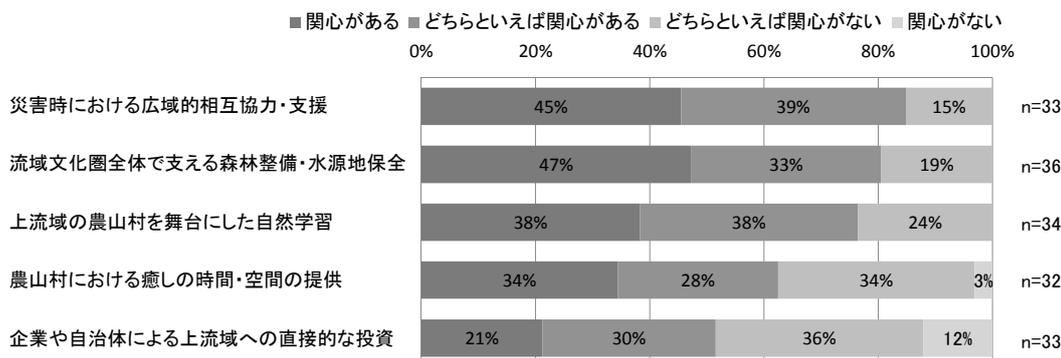
## 【ニーズ編】

問1. 組織としての各取組テーマに対する関心度について、以下の回答表にあてはまるものをひとつ記入してください。また、関心のあるキーワードがあれば書いてください。

関心のある上流域での活動テーマは、「森林整備・水源地保全」（「関心がある」が47%）。次いで、「災害時の広域的相互協力・支援」（45%）、「自然学習」（38%）、「癒しの時間・空間提供」（34%）が続く。

		回答数	%
災害時における広域的相互協力・支援	関心がある	15	45%
	どちらといえば関心がある	13	39%
	どちらといえば関心がない	5	15%
	関心がない	0	0%
	有効回答	33	100%
	無回答	4	
流域文化圏全体で支える森林整備・水源地保全	関心がある	17	47%
	どちらといえば関心がある	12	33%
	どちらといえば関心がない	7	19%
	関心がない	0	0%
	有効回答	36	100%
	無回答	1	
上流域の農山村を舞台にした自然学習	関心がある	13	38%
	どちらといえば関心がある	13	38%
	どちらといえば関心がない	8	24%
	関心がない	0	0%
	有効回答	34	100%
	無回答	3	
農山村における癒しの時間・空間の提供	関心がある	11	34%
	どちらといえば関心がある	9	28%
	どちらといえば関心がない	11	34%
	関心がない	1	3%
	有効回答	32	100%
	無回答	5	
企業や自治体による上流域への直接的な投資	関心がある	7	21%
	どちらといえば関心がある	10	30%
	どちらといえば関心がない	12	36%
	関心がない	4	12%
	有効回答	33	100%
	無回答	4	
全体		37	

問1. 組織としての各取組テーマに対する関心度について、以下の回答表にあてはまるものをひとつ記入してください。また、関心のあるキーワードがあれば書いてください。



問2. 組織として各取組事例に対する関心度について、以下の回答表にあてはまるものをひとつ記入してください。

関心のある上流域での具体的な活動内容は、「木曽川クリーンアップ活動」「山村学習」が共に29%でトップ。

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合が過半数を超える活動内容は多い順に、「木曽川クリーンアップ活動」「山村学習」「間伐材の机・椅子」「水の基金への寄付」「カーボンオフセット事業」「木質バイオマス利活用事業」。

		回答数	%
全体		37	
1	仮設住宅・復興住宅の資材ストック	関心がある	4 12%
		どちらかといえば関心がある	12 36%
		どちらかといえば関心がない	17 52%
		関心がない	0 0%
		有効回答	33 100%
	無回答	4	
	疎開保険	関心がある	1 3%
		どちらかといえば関心がある	9 27%
		どちらかといえば関心がない	19 58%
		関心がない	4 12%
有効回答		33 100%	
無回答	4		
2	水の基金への寄付	関心がある	6 18%
		どちらかといえば関心がある	15 45%
		どちらかといえば関心がない	10 30%
		関心がない	2 6%
		有効回答	33 100%
	無回答	4	
	木曽川クリーンアップ活動	関心がある	10 29%
		どちらかといえば関心がある	16 47%
		どちらかといえば関心がない	7 21%
		関心がない	1 3%
有効回答		34 100%	
無回答	3		
3	山村学習	関心がある	10 29%
		どちらかといえば関心がある	16 47%
		どちらかといえば関心がない	7 21%
		関心がない	1 3%
		有効回答	34 100%
無回答	3		
4	長期滞在(健康増進、保養など)	関心がある	4 13%
		どちらかといえば関心がある	9 29%
		どちらかといえば関心がない	16 52%
		関心がない	2 6%
		有効回答	31 100%
無回答	6		

5 IT環境が整備されたサテライトオフィス	関心がある	1	3%
	どちらといえば関心がある	8	26%
	どちらといえば関心がない	16	52%
	関心がない	6	19%
	有効回答	31	100%
間伐材を利用した机、椅子の学校での利用	関心がある	9	26%
	どちらといえば関心がある	15	44%
	どちらといえば関心がない	7	21%
	関心がない	3	9%
	有効回答	34	100%
カーボンオフセット事業	関心がある	5	15%
	どちらといえば関心がある	15	44%
	どちらといえば関心がない	14	41%
	関心がない	0	0%
	有効回答	34	100%
木質バイオマス活用事業	関心がある	4	12%
	どちらといえば関心がある	16	47%
	どちらといえば関心がない	12	35%
	関心がない	2	6%
	有効回答	34	100%
	無回答	3	

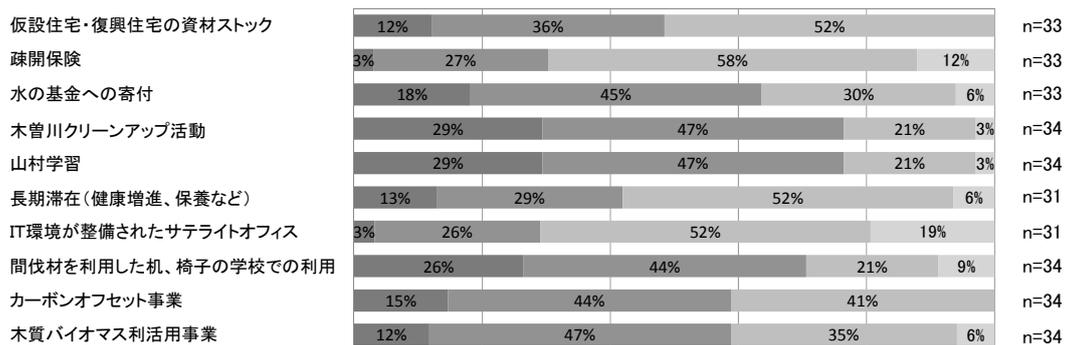
<その他>

上流で石けんを使う運動、有機農業運動をやってほしい  
具体的なアピールになる

王滝村宿泊助成制度

問2. 組織として各取組事例に対する関心度について、以下の回答表にあてはまるものをひとつ記入してください。

■ 関心がある ■ どちらといえば関心がある ■ どちらといえば関心がない ■ 関心がない



問3. 問2で「A」または「B」を選んだ事例について、関心を寄せる理由や関心の具体的な内容を書いてください。

今後のニーズ・シーズマッチングにつながるものが期待される具体的な関心理由・内容の例に網掛けを行っている。

<p><b>○1. 災害時における広域的相互協力・支援</b> 東日本大震災で必要と感じるので</p>
<p><b>○2. 流域文化圏全体で支える森林整備・水源地保全</b> 組織として、現在取組中 愛知中部水道企業団の管轄内であり、水の基金事業に関心を持っている 本市は愛知用水の恩恵を受けており、その水源地として良好な水質を確保することが必要であり、そのための森林整備は水質の確保だけではなく、多くの効用があり重要であると認識しており関心がある 安心した水の供給を受けるため、維持管理が必要と感じる 木曾川クリーンアップ活動：毎年実施される「川と海のクリーン大作戦」にも参加しており、地元にある河川の美化・環境改善や住民と行政の協働によるまちづくりにもつながると考えるため 木曾川クリーンアップ活動は、我が市も木曾川沿線に位置するため、上下流一体的にできれば良い 木曾川クリーンアップ活動については本町でも実施しており、この活動については関心がある 「木曾川クリーン」は既に実施中である(木曾川クリーン大作戦：1回/年)</p>
<p><b>○3. 上流域の農山村を舞台にした自然学習</b> 複数の自治体から、子供に水環境保全の重要性を教育していくことが重要だという意見をいただいており、何か形にできないかと考えている 山村学習は、学校の林間学校として交流が持てるとよいと考えている 山村学習については、本町として森林環境教育の教育を図る(木祖村への小学5年生野外体験活動)という点から関心を持っている 学生たちが何かの機会の上流域で学ぶこと 将来へ託す子供たちに学習する機会を与え、各自意見を持っていただきたい 本市の平成こども塾自主事業の中で、地域間交流や環境教育推進のため上流域(南木曾町)でのフィールドワークを定期的に開催している。参加者から大変好評であり、より良いプログラムにするためにも関心が高い 山村学習について、「市民の森づくり」を毎年、木曾・裏木曾で実施しており、植樹という内容を将来的には発展させ、上下流交流及び名古屋市民が上流域の文化を知る機会となるよう検討を進めたい 上下流交流の一つのカタチとして、交流を通じて、上流域の現状を下流域の住民が知ってもらいよい機会となる 「水」をテーマとした環境学習 市民への啓発に関心があるから 持続可能な社会の実現に向けた教育活動、再生可能エネルギーの普及 木曾地域への「山村学習」は既に実施中である。(中学生校外学習木曾地域派遣：1回/年)</p>
<p><b>○4. 農山村における癒しの時間・空間の提供</b> 中部経済連合会は、海外観光客の誘致活動の一環として「昇竜道プロジェクト」に取り組んでいるこのため項目4について、中国や東南アジアの人々に木曾の自然が評価されるのではないかと関心がある。</p>
<p><b>○5. 企業や自治体による上流域への直接的な投資</b> 間伐材の有効利用という観点から、組織の活動にあった施策があれば検討していきたい 木曾川流域の木材利用を推進していく、取組み また上下流の組織との連携を進めていく まちづくりの中で、間伐材利用のファニチャを利用することや、空店舗での販売などの活動で、まちづくりが活発になれば良いと思う 間伐材を利用した机、椅子の学校での利用：健全な木々の育成や森林保護のために間伐は必要であり、その間伐材を利用することで資源の有効利用及び環境教育にも役立つため 公共施設整備の際に間伐材の利用に積極的に取り組んでおり、間伐材を利用した机、椅子の学校での利用に関心がある 平成23年度から間伐材を利用した机、椅子を学校や保育園で利用している 八十二銀行では長野県産材(主にカラマツの間伐材)を利用したロビー椅子を使用している また、26年3月に新築した新研修所にもカラマツを使用している 生協として脱原発運動を進めている そのなか、原子力に替わる発電事業として、バイオマス発電に興味をもっている エネルギー創造に向け期待している</p>
<p><b>○その他</b> 流域連携の具体的な取り組みを流域自治体で始めていく時期に来ている 上記の内容はその点で、いろいろとスタートできる 上流にこそ日本の農業、食糧生産、環境の未来があると下流民に実感させる 具体的な動きを進めていかなければならないと考えている 川に囲まれている本市において、上流域の水質浄化は生活に密接に関係しており重要であるため 水資源確保のため、上流域の経済的扶助の必要性 今後も本町の水源地である王滝村と宿泊助成制度やボートを利用して交流を行いたい 木祖村のアンテナショップを行っている。名古屋市、水道事業PRIに協力している どう書いてよいかわからない</p>

問4. 問2で「C」または「D」を選んだ事例について、関心がない理由としてあてはまるものを記入してください。(複数可)

具体的な活動内容に関心がない理由の6~8割が取組活動と組織活動との関連性が薄いことにある。

取組の意義・メリットに共感できないとの回答割合が、「木質バイオマス利活用事業」(25%)、「サテライトオフィス」(19%)、「カーボンオフセット」(17%)で多少高くなっており、比較的新しい活動を推進していく際には、取組の意義・メリットを関係者に分かりやすく提示することが重要と考えられる。

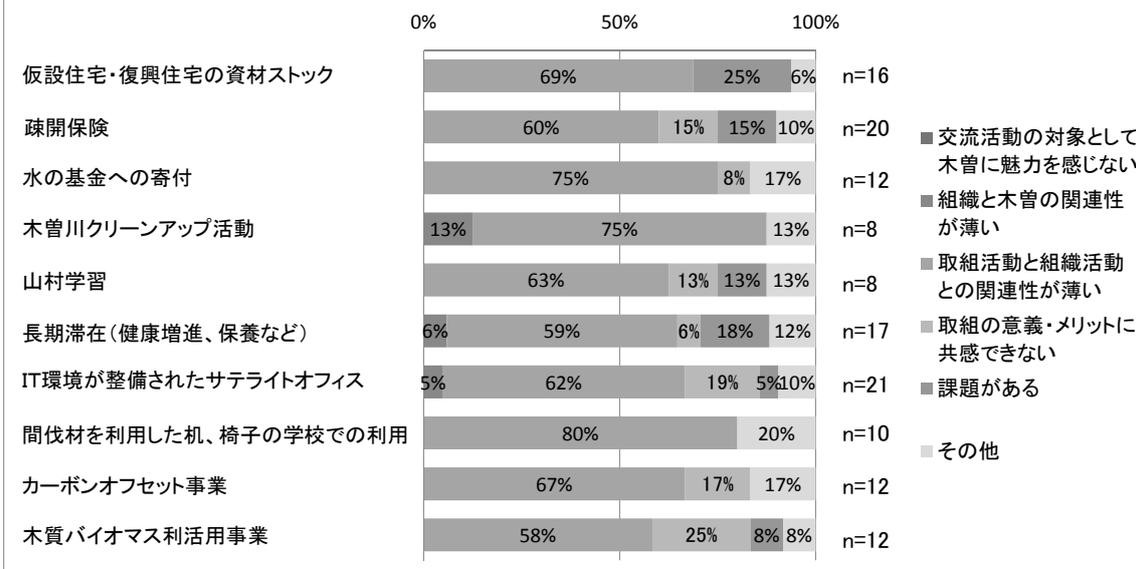
		回答数	%	
1	仮設住宅・復興住宅の資材ストック	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない	0	0%
		組織と木曾の関連性が薄い	0	0%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	11	69%
		取組の意義・メリットに共感できない	0	0%
		課題がある	4	25%
		その他	1	6%
		有効回答	16	100%
		無回答	1	
		全体	17	
	疎開保険	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない	0	0%
		組織と木曾の関連性が薄い	0	0%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	12	60%
		取組の意義・メリットに共感できない	3	15%
		課題がある	3	15%
		その他	2	10%
		有効回答	20	100%
		無回答	3	
全体		23		
2	水の基金への寄付	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない	0	0%
		組織と木曾の関連性が薄い	0	0%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	9	75%
		取組の意義・メリットに共感できない	1	8%
		課題がある	0	0%
		その他	2	17%
		有効回答	12	100%
		無回答	0	
		全体	12	
	木曾川クリーンアップ活動	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない	0	0%
		組織と木曾の関連性が薄い	1	13%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	6	75%
		取組の意義・メリットに共感できない	0	0%
		課題がある	0	0%
		その他	1	13%
		有効回答	8	100%
		無回答	0	
全体		8		
3	山村学習	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない	0	0%
		組織と木曾の関連性が薄い	0	0%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	5	63%
		取組の意義・メリットに共感できない	1	13%
		課題がある	1	13%
		その他	1	13%
		有効回答	8	100%
		無回答	0	
		全体	8	

4	長期滞在(健康増進、保養など)	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない	0	0%
		組織と木曾の関連性が薄い	1	6%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	10	59%
		取組の意義・メリットに共感できない	1	6%
		課題がある	3	18%
		その他	2	12%
		有効回答	17	100%
		無回答	1	
		全体	18	
		5	IT環境が整備されたサテライトオフィス	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない
組織と木曾の関連性が薄い	1			5%
取組活動と組織活動との関連性が薄い	13			62%
取組の意義・メリットに共感できない	4			19%
課題がある	1			5%
その他	2			10%
有効回答	21			100%
無回答	1			
全体	22			
	間伐材を利用した机、椅子の学校での利用			交流活動の対象として木曾に魅力を感じない
		組織と木曾の関連性が薄い	0	0%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	8	80%
		取組の意義・メリットに共感できない	0	0%
		課題がある	0	0%
		その他	2	20%
		有効回答	10	100%
		無回答	0	
		全体	10	
			カーボンオフセット事業	交流活動の対象として木曾に魅力を感じない
組織と木曾の関連性が薄い	0			0%
取組活動と組織活動との関連性が薄い	8			67%
取組の意義・メリットに共感できない	2			17%
課題がある	0			0%
その他	2			17%
有効回答	12			100%
無回答	2			
全体	14			
	木質バイオマス利活用事業			交流活動の対象として木曾に魅力を感じない
		組織と木曾の関連性が薄い	0	0%
		取組活動と組織活動との関連性が薄い	7	58%
		取組の意義・メリットに共感できない	3	25%
		課題がある	1	8%
		その他	1	8%
		有効回答	12	100%
		無回答	2	
		全体	14	

<その他>

・疎開保険 地理的に遠い
・水の基金への寄付 議会の議決、市民の理解が必要 (水道料金の値上げと同程度の高いハードルがある)
・長期滞在(健康増進、保養など) 事実上実践にうつすのが難しい
・IT環境が整備されたサテライトオフィス 事実上実践にうつすのが難しい
・間伐材を利用した机、椅子の学校での利用 愛知県独自課税を財源にした同じ事業があり、県外材の活用可能性がない
・カーボンオフセット事業 犬山市は飛騨木曾川国定公園内にあり、市域の半分が山林で、乏しい財源の中その保全に同じように課題を抱えており、あえてこれから事業を他地域(木曾)で行う立場にない
・全ての項目について 有効自治体の木祖村との連携を優先

問4. 問2. で「C」または「D」を選んだ事例について、関心がない理由としてあてはまるものを記入してください。(複数可)



問 5. 貴組織が木曾で活動・交流を行うことの課題を選んでください。(複数可)

木曾で活動・交流を行うことの課題の上位は、「距離が遠い」(59%)、「資金不足」「人材・技術不足」(ともに46%)。

	回答数	%
組織所在地との距離が遠い	22	59%
移動が不便	12	32%
資金不足	17	46%
人材・技術不足	17	46%
ニーズがない	5	14%
木曾に関する情報の不足	4	11%
その他	4	11%
無回答	4	11%
全体	37	100%

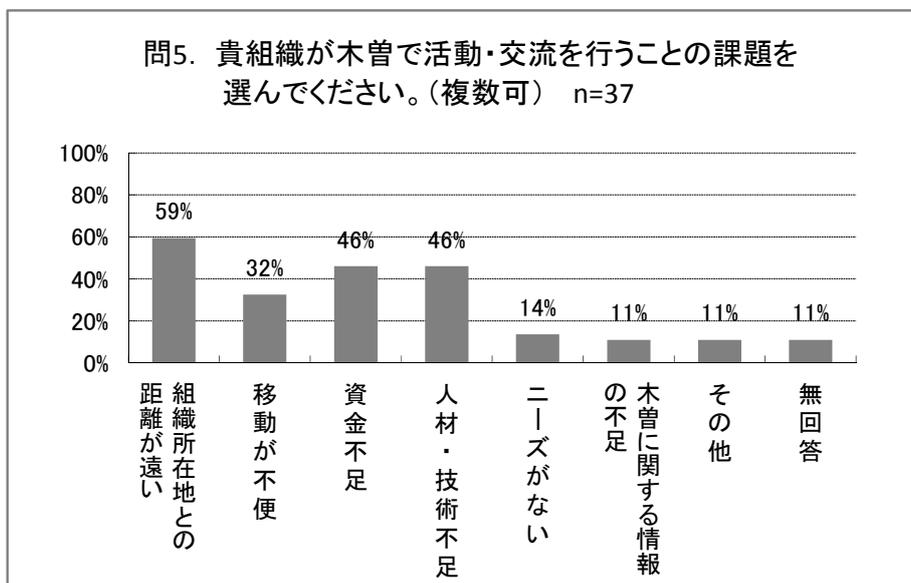
<その他>

商品を扱っているがチャレンジングな業者の方が少ないように思う

当財団は、名古屋地域への観光客、コンベンション誘致を行っており、そのための連携のメリット等を管理する必要がある

本市も自然が多いため、活動・交流の内容によっては魅力を感じにくく、ニーズが高まらないことがある

木曾での活動、交流を行っているが、強いて挙げると距離が遠いため移動に時間を要して、活動内容が薄くなってしまう



問 6. 貴組織が木曽で活動・交流を行うために、どのような支援が必要ですか？（複数可）

木曽で活動・交流を行うために必要な支援の上位は、「人材の協力」(54%)、「資金調達」(43%)、「情報の入手」(38%)。

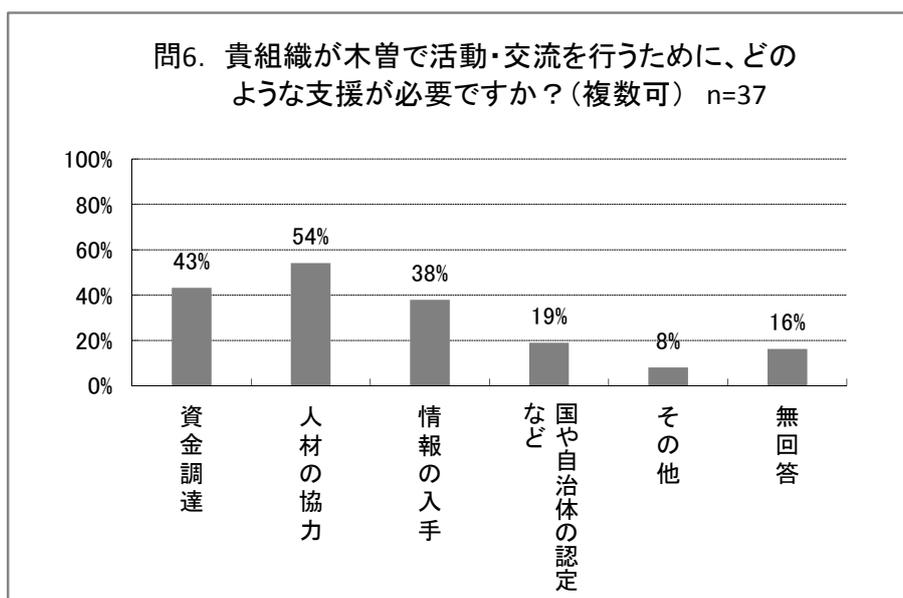
	回答数	%
資金調達	16	43%
人材の協力	20	54%
情報の入手	14	38%
国や自治体の認定など	7	19%
その他	3	8%
無回答	6	16%
全体	37	100%

<その他>

行政の方の資金面での補助・助成があると嬉しいですが、やる気を削いだり、モラルハザードにつながりかねないように思う

情報提供や相談にのってくれる窓口

木曽での活動や交流が一過性のものにならないように、リピーターが増えるような企画や協力が必要と考える



問7. その他、木曾地域へのご意見がありましたら、自由にお書きください。

名古屋市は、下流域の中核都市として、引き続き流域連携に力を入れていく ご協力をよろしくお願いいたします
木曾の魅力は何か？「自然」。もちろんそうなのですが、「人」をアピールすべき 「人の魅力」が、いきつけの場となる
木曾川上流域に、まちの人がもっと出かけたり、親しみを持てるようなイベント・取 組みがあると良い
長良川の上下流と比べると、上流域の印象が薄い
中部経済連合会と情報交換や意見交換をさせていただければ幸い
・上流域のことは重要課題だが、下流域での気づきをどう作るかが課題 ・有効な手だてが見えないでいる ・「帰属感」は広がりにくい、「連帯感」が良い、広がりやすい
今回の回答は、「流域圏」からではなく、「環境(森林、里山、河川の保全)」の観点か ら回答した